【シンガポール―医薬】

運動なしで筋肉強化する機器、国立大らが開発

シンガポール国立大学とスイスの大学が共同開発した筋肉を強化する機器（クオンタムＴＸ提供）

シンガポール国立大学（ＮＵＳ）がスイスの大学と共同で、運動することなく筋肉を強化できる機器の開発に成功し、特許を申請した。主に高齢者による利用を想定している。2020 年に販売を開始する計画だ。

ＮＵＳは、15 年前に機器の研究を始めたスイス連邦工科大学チューリッヒ校（ＥＴＨチューリッヒ）の研究者を、３年前にＮＵＳのヨン・ルーリン医学部に招き、共同開発に取り組んできた。

磁場エネルギーを利用して筋肉の細胞を刺激し、筋力を向上させる機器「バイオ・イオニク・カレンツ・エレクトロマグネティック・パルシング・システムズ（ＢＩＣＥＰＳ）」を開発した。

国立大学病院の高齢患者 69 人を対象とした臨床試験では、10 週間にわたって週２回、10 分間利用すれば効果があることを確認した。被験者の 85％が、筋力が１割以上向上したという。効果がなかった人は５％にとどまった。

これを受けて、ＮＵＳとＥＴＨチューリッヒは特許を申請した。特許の持分比率はＮＵＳが 80％、ＥＴＨチューリッヒが 20％だ。

製造は地場クオンタムＴＸが手掛ける。20 年半ばの発売を予定している。価格は１台当たり２万 5,000 Ｓドル（約 200 万円）程度となる見込み。シンガポール以外の国でも代理店を通じて販売していく考えだ。